

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 クオリティ・オブ・ライフ久留米支援教室

公表日 2026年4月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	活動スペースを用途別（運動・工作・クールダウン等）に分け、子どもが安心して過ごせる環境を整えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	個別支援が必要な子どもには担当を明確にし、役割分担を行うことで質の高い支援を行っている。	より手厚い支援のためには、専門的支援の指導員が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	視覚的なスケジュールや活動スペースの区分を行い、子どもが見通しをもって行動できるよう工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃や消毒を徹底し、活動内容に応じて空間を整理している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンスペースを確保し、気持ちの切り替えが必要な際には個別対応できる環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に支援の振り返りを行い、職員全体で支援の改善点を共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者アンケートや面談の内容を職員会議で共有し、支援内容や運営の改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	朝礼や終礼で日々の気づきを共有し、支援方法の改善を図っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	現在は実施していないが、本部移行後も第三者機関の活用を検討し、客観的視点から支援の質向上を図る予定である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	年間計画に基づき研修を実施し、外部研修の内容は事業所内で共有している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	活動内容を整理した支援プログラムを作成し、保護者へ説明している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	フォーマルアセスメントと日々の観察記録を組み合わせ、子どもの発達状況を把握している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者だけでなく職員全体でケース検討を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	新規利用児童は特に時間をかけて職員間で情報共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	標準化ツールや日々の記録を活用し、発達の変化を把握している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	本人支援・家族支援・移行支援を意識し、子どもの発達段階に応じた計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	活動担当を決め、複数職員で内容を検討している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	運動遊びや制作活動などを取り入れ、子どもの興味関心を活かした活動を実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別課題と小集団活動を組み合わせ支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼時にその日の役割分担や支援内容を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	終礼で気づきや改善点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	療育支援システムを活用し、日々の記録を共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画を見直している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	個別担当職員と情報共有しながら、児童発達管理責任者が主に参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	当教室のほぼ全員が幼児教育研究所に通う、月に1回程度は参観をさせていただき支援の一貫性を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	幼稚園・保育園に通う児童に関しては、送迎時の引継ぎ、関係機関連携加算を活用して園での様子の見学、当教室への訪問の相互交流を通して、支援の一貫性を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	年長のお子さんに関しては、これまでの支援の経過や望ましい環境設定などを書面にて提示している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	#DIV/0!	#DIV/0!		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	#DIV/0!	#DIV/0!		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	#DIV/0!	#DIV/0!		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	昨年は1件、児童発達支援センターに通う児童の見学、情報共有を行う。遠方にあるためなかなかいけないことが課題	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	送迎時や関係機関連携を活用し情報共有している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡帳や送迎時に日々の様子を伝えている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	保護者会を2か月に1回程度行う。管理者が作業療法士であるため、脳科学の観点から情報提供をしている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	75%	25%	運営規程や利用方法を丁寧に説明している。	避難訓練等に関する内容も写真を見せながら取り組みを教える必要がある。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者の希望を聞き取り計画に反映している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	計画内容を説明し同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	必要に応じて面談、電話連絡を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	定期的に保護者同士の交流機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情受付体制を整備し迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	インスタグラムのストーリーなどでタイムリーに活動の様子を提供している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵付き保管やデータ管理を徹底している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	基本的には視覚化することで、どの子どもにとってわかりやすい情報提供を行う。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	地域行事などを通して交流の機会を検討している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	事故・感染症・防犯等のマニュアルを整備している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的に避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に健康情報を確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	医師の指示書を基に対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成し研修を実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	安全確保については、保護者へ周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	月1回は作成。記録を共有し再発防止を検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	職員研修を実施し防止体制を整えている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	原則行わず、必要時は事前説明と記録を行う。	